

平成28年12月6日

No. 93

日立理科クラブ通信



日立理科クラブ

第16回 青少年のための科学の祭典・日立大会

日立理科クラブの出展

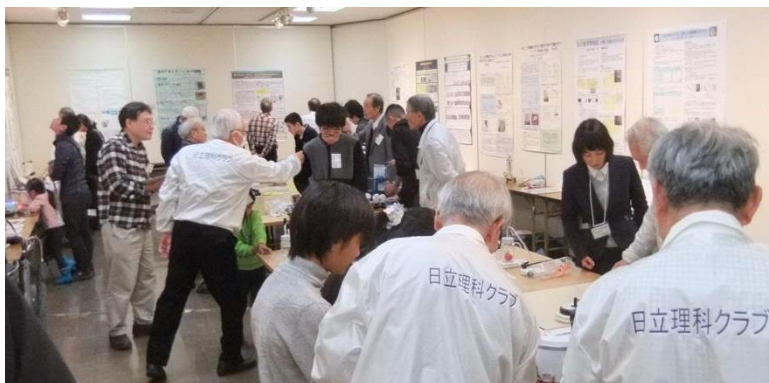
11月27日(日)、日立シビックセンター(マールホール・新都市広場・ギャラリー)で、今年で16回になる「青少年のための科学の祭典・日立大会」が開催されました。午前中の早い時間や午後の時間に雨が降るなど、天候が不順でしたが、2987名の来場者が、54の出展ブースに興味を示し、科学の世界の不思議さ・面白さに満喫していました。今回の祭典には、平沢中学校の全校生徒が理科学習として、おおせ元気っ子の児童も活動の一つとして多数参加していました。

祭典の様子を日立理科クラブの出展を中心に紹介します。シビックセンター1階のギャラリーでは、「科学の楽しさ一日体験」というタイトルで、理数アカデミーの講師の方による教材コーナー、自由研究の受講生による自由研究コーナーを展示し、参観者に分かりやすく展示教材の仕組みなどや、自由研究テーマにそったポスターセッションが行われました。受講生たちも、見学に来た児童たちに、研究の内容を分かりやすく説明するなど楽しんで活動していました。左下の表は、本年度の自由研究テーマです。小学6年生も含めて15名の受講生が自由研究に挑戦しています。



私の数学体験記

- 「かしこい」ロボットを作って動かそう
- 植物工場を我が家に造ってみよう
- 再生可能エネルギーって何?
- 無線の実験を楽しもう
- 音の不思議「木琴を科学する」
- 電気自動車模型を走らせよう!
- 物の形と強さの秘密を調べよう
- 不思議な「 π 」
- 電気で金属の錆を防ごう
- LEDで発芽、成長を早めてみよう
- 水ロケットを正確に飛ばすには?



マールホール内では、「夕焼けはなぜ起きるのだろう?」「ふしぎなコップモーターをつくらう!」「自分の声や楽器の音の形を見てみよう」というタイトルで、3つのブースが並んで行われていました。どのブースもたくさんの参観者が集まり、とてもにぎやかに活動していました。このブースで取り組んでいることは、小中学校での授業支援で実施されている内容でもあります。コップモーターが回り出したときの子どもたちのうれしそうな笑顔や、ストローを使った「ストローンボーン」の笛では、他のブースを見学しながら、音を出して楽しそうにしている子もおり、自分の手作りの作品に愛着をもっている様子がとてもうかがえました。新都市広場では、「中里小の理科室のおじさん」が出展している「ソーラーカーの試乗」が、小さな子どもたちに人気で、子どもたちのうれしそうに運転している表情がとても見られました。午後は、雨が本降りになるなど残念ながら活動できませんでしたが、アシスタントとして補助をしていた日立一高附属中の生徒たちと約300名の試乗者で、元気に活動をしていました。



文責 日立理科クラブ 特別会員 岩波 英一
日立理科クラブ事務所 TEL/FAX 0294-24-3104